



ケーシーは遠くから見てもデッカイね!



管制塔から絶景を独り占め



あーま!こちらも並列複座!!



防弾装備が凛々しいですよ!



コックピット満喫してますよ〜



こちらは人命救助システム実演



チヌークの可愛い後ろ姿もなかなかの人気



前ではコックピットにワクワクです

ちびっこヤング オープンベース スナップ集

ちびっこヤング大会は例年スポーツ競技会の形で実施していましたが、今年は趣向を変えて美保基地の施設や装備に「見て」「触れて」「乗り込んで」もっと美保基地の事を理解してもらえるような企画をと、5月から実施している美保基地オープンベースと融合させて8月の最後の週末にオープンベースの集大成として開催しました。



G-2コックピットも並列複座ですよ!



バスで滑走路走行なんて貴重な経験



G-2機内もほどよく大盛況



映える放水、霧のカーテンに湧く歓声



ANA機も友情出演??



手を消毒したらドリンクタイム!



さあ!上手に登れるかな?

美保管制隊員、褒賞受賞

今回は、第5術科学校の
上級航空管制員課程におい
て、優秀な成績を収め卒業
した隊員2名を紹介したい
と思います。
両隊員は、美保管制隊に
おいても明るく真面目に勤
務しており、とても努力家
で、管制隊の主力として勤
務しています。
また、上級航空管制員課
程入校前には、ターミナル・
リーダー管制業務及び進入
管制業務の管制技能試験を
高評価で合格し、管制技能
証明を全て取得しました。
その真面目な性格と勢い
を維持したまま入校に臨ん
だ2名は、見事、「第5術科
学校長褒賞」及び「第5術
科学校学生隊長褒賞」を受
賞することになり、その一
報を受けた管制隊は大いに
盛り上がりました。
美保管制隊は、この2名
を誇りに思いつつ、切磋琢

定年に向けて自己啓発

将来への心構えしつかりと

7月12日〜7月14日の3
日間、美保基地援護室は「能
力開発設計集合訓練(准空
尉及び空曹)」を実施した。
本訓練は、定年退職のお
よそ10年前の若年定年自衛
官に対し、将来の生活設計
に必要な能力の開発を図る
ことを目的として開催して
いる。
今回は、美保基地、高尾
山分屯基地から26名の隊員
が参加し、退職後は民間企
業に再就職することを想定
しているため全員が私服
(クールビズ)での参加と
なった。
部外講師として、(株)エイ
ジェックより「福島麻未(ふ
くしままみ)氏」が来訪。ラ
イフプラン及び自衛官の就
職状況、企業が求める人材
等について2日間にわたっ
て講義していただき、参加



福島氏の巧みな講義



和やかながらも、普段と違う雰囲気は少し緊張

磨るとともに、引き続き
日本と空の安全のために業
務に邁進する所存です。
筆者 尾田曹長



本池3曹 学生隊長褒賞
八木3曹 学校長褒賞(コースレコード)

もうひとりのアスリート

第40回全日本トライアスロン皆生大会

7月17日(日)、第40回全日本トライアスロン皆生大会が鳥取県西部2市4町村(米子、境港、南部、伯耆、大山、日吉津)を舞台に開催された。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりとなった大会には、全国から約990人が参加し、総延長154kmに及ぶ過酷なレースに挑んだ。今年は、皆生海岸の波が高かったため、3kmのスイムが6.9kmのランに変更され、その後は予定通り115kmのバイクと32kmのランに移行するコースとなったが、実は本来の距離より30km程短くなった。



愛する家族の支えは絶大だ

その理由は、新型コロナウイルスの影響をうけ、全国から参加されるボランティアが例年の半数ほどの約2300人と少なく、エイドステーション等の確保ができないためであった。大会には、



ボランティアと選手は一心同体

運営スタッフやボランティアの存在は必要不可欠であり、彼らは「もうひとりのアスリート」と呼ばれているのだ。

参加者の数も日本一と言われ、猛暑の中、選手たちが一杯の水をこぼすまいと必死で渡す子供たち、声を枯らしながら選手の名前や応援をする方々も我々と同様アスリートであり、仲間である。彼らの存在があるからこそ、選手たちは勇気と元気をもらいながら安心してレースに参加することができ、きっと彼らも同様の気持ちで参加していることだろう。このような素晴らしい仲間や職場の同僚、家族や友人からの絶え間ない応援が選手たちをゴールまで導いてくれる、人の温かさをとっても感じる大会である。

故事成語

ちゅうげんしかお No.250 中原に鹿を逐う

●帝王の位を得るべく争うこと。転じて、地位や物を得るために争うこと。



「中原に鹿を逐う」は、鹿を追い回すこと。このあたりは、黄河が流れているところ。王朝の中心となった地域。すなわち「天」を指している。



「鹿を逐う」は、鹿を追い回すこと。このあたりは、黄河が流れているところ。王朝の中心となった地域。すなわち「天」を指している。



楽に浮かんで助けを待つことが重要

第405飛行隊が着衣泳訓練

生還の決め手は「浮いて待つ」

第405飛行隊は境港サーフレスキューチームから岩本和貴氏をはじめとする講師団を招き、「夏季保命訓練」として着衣泳法の演習を9月2日(金)美保基地内のプールにおいて実施した。

9月初旬とはいうものの、強風吹きすさぶ中で、過酷な訓練で、凍えながらも着衣泳の有利な点と不利な点とを、身をもって確認した。



消防署に勤務されている講師の方々

職場紹介

整備補給群本部 総務人事班

アットホームな職場 若手が活躍!! 積極採用

「だいせん新聞をご覧の皆様、こんにちは。今回の職場紹介は整備補給群本部総務人事班です。整備補給群司令の指導事項である「着実・挑戦」をまんな motto としており、総人班長以下現在10数名の班員で構成されています。

主な業務は、総務係が業務予定の作成や食伝作成等などを行い、人事係が隊員の人事管理をするといったものですが、群本部及び群全体にわたる各種業務の実施並びに統括も地味に行っており、総務人事班は群本部、ひいては整備補給群全体の要となる部署です。

そんな我が班は、やる気に満ち溢れた若き空士をはじめ、経験豊富で何でも知っている空曹や文書管理補助員さんといった方々、そして、いつも優しく弥勒菩薩のように班員を見守っている総人班長という恵まれたメンバーで、いつも笑み絶えないものの、締めるときはしっかりと締めて着実に業務をこなすといったメリハリのある部署で、毎日楽しく職務に専念できています。

現場に出て整備作業等をする事はありませんが、有事の際に備えて課外には



和やかムードの職場です

僕のお父さん

余子小6年 高松 幸範 くん
飛行場勤務隊 高松1曹 長男

ぼくのお父さんは、魚を飼っています。魚の種類は、金魚、フナ、ドジョウ、メダカ、グッピーがいます。最初は僕が飼いたいと言いついて出しましたが、いつのまにかお父さんが世話をするようになってしまいました。

お父さんは毎朝、犬の散歩に行きます。散歩から帰ってくると魚に餌をあげています。仕事から帰ってきた時も餌をあげてから家に入ってきます。



人馬一体!カッコー!!!

週末は水槽の水換えをしています。魚を飼っている水槽が5つあるので大変そうです。

週末にはお父さんが車で大山に連れて行ってくれます。大山で僕は馬に乗っています。帰りもお父さんが車を運転して家に帰ります。

お父さんいつもおつかれさまです。

